

# KLIS TODAY

No.  
29

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2 Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162  
URL <http://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

## 頼もしい新入生

芳鐘冬樹

今年度の新1年生の担任をつとめることになりました。去年、前回担任をつとめた学生さんたちが卒業し、ほっとしたのも束の間という気持ちです。学生さんたちを無事送り出せて、ほっとしたのと同時にさびしい気持ちもありましたので、また新入生を迎えられてうれしく思っています。前回と比べての私自身の印象でもありますし、上級生からも同様の声を聞いていますが、この学類の新入生は年々元気で積極的になってきているように感じます。クラスメートの多くは、入学前からLINE などを通じてお互いのことを知っていたようで、オリエンテーションのとき、元からの知り合いのように元気に会話していたのには驚きました。また、既に上級生ともやり取りして、大学のことを詳しく知っている新入生もいて、むしろ私の方がキャンパスの案内をしてもらったくらいです。そうした学友とのつながりを今後も育んで、充実した学生生活を送ってほしいです。

(よしかね・ふゆき 知識情報・図書館学類 教授)



バスツアーで行った歴史民俗博物館前にて



# 新 1 年生からのメッセージ

## 楽しいことは自己責任！

佐藤 千尋

合格通知が届いてから、二か月が経ちました。私は、信じられないくらい忙しく過ごしています。慣れない一人暮らし、楽しいサークル、難しい授業が一度に襲いかかってはいますが、刺激的な毎日です。特筆すべきは、5月のやどかり祭（宿舍祭）です。すべて学生が作り上げるこの祭は、難しいことばかりでした。もちろん参加は任意ですから、もし声を上げていなければ、平和に過ごせていたでしょう。しかし、不思議なことに、辛い記憶はほとんどありません。ここで出会ったたくさんの友人のおかげで、これから忘れることはないであろう素敵な時間が、ただただ楽しく過ぎていきました。

大学生は自由だと、大学生になって実感しています。自分の責任で選び、学び、楽しめます。

（さとう・ちひろ 知識情報・図書館学類 1 年次）



やどかり祭ゆかたコンテスト出演者  
（最前列左端が私）

## 先輩とのつながりが強い学類

松浦 洋太郎

入学してからおよそ二か月が経ちました。入学したばかりのときは木で囲まれ森のように広大な大学のキャンパス内で、自分の現在地すらわかりませんでした。今は自分の思い通りに移動できるようになりつつあります。この二か月間に筑波大学で一番印象深く感じたことは、先輩と後輩の関わりです。活発な新歓活動などもあってか、先輩と後輩のつながりが強く、先輩と話すことがとても多いです。特に同じサークルの春日エリアの先輩とはかなり頻繁に遭遇して話します。また、先輩から教科書を譲ってもらったり、いろいろな授業の情報を得たりすることもできます。

大学生になってからは自分の思うように好きなことを自由に学ぶことができるようになりました。実際、現在私は他学類の授業もとっています。少しづらくもありますがとても興味深くて楽しいです。今後の希望に溢れた大学生活を、初めのオリエンテーション、フレッシュマンセミナーやサークルなどいろいろなところでできた友達や先輩方とともに、楽しみたいと思います。

（まつうら・ようたろう 知識情報・図書館学類 1 年次）

## 不安から期待へ

村松 ななみ

入学から二か月が過ぎ、ようやく心身共に落ち着いてきました。4月から宿舎に入居した私は、最初は初めての一人暮らしに戸惑ってばかりいましたが、周りの人も自分と同じように不安を抱いているということがわかり、それからはときに助け、ときに助けられ、徐々に打ち解けることができました。

この二か月間が非常に充実したものとなった主な要因は、サークル活動にあります。私は三つのサークルに入りましたが、その中でも特に、やどかり祭実行委員の太鼓隊のメンバーとは、多くの時間を共にし、一緒に練習を積む中でたくさんの思い出を作ることができました。

忙しくも楽しい日々を過ごし、これから約四年間続く大学生活に期待が持てそうです。

(むらまつ・ななみ 知識情報・図書館学類 1 年次)



太鼓隊女子のみんなと  
(前列右端が私)

## 広くて狭い町つくば

長谷川 夏

「君たちはいい度胸をしている。図書館情報学とは何を学ぶかもわからずここにきているのだから」ある授業のはじめに講師がおっしゃっていた言葉です。先輩に聴くと「学年があがるほどわからなくなるよ」と返事がきました。4年間でわかればいいなと思いながら、今はつくばという土地が広くて狭いことを実感しています。例えば、キャンパス内のみならず普通の飲食店で色々な外国語が聞こえてくるかとおもいきや、大学図書館の司書が学類の先輩だったり、スーパーでは地元での創作映像を流していたりします。これからどんなことが起こるか、まだわかりませんが色々なことに挑戦していきたいと思います。

さてこの後、サークルの1年で寸劇をやるのですが上手くいくでしょうか？

(はせかわ・なつ 知識情報・図書館学類 1 年次)



サークルの仲間たちと  
(後列右から3番目が私)

## 春の進学説明会

伊藤 志暢

2016年3月に行われた大学説明会で、プレゼンテーションと個別相談を担当しました。個別相談では、多くの方に来ていただきました。時期の関係か高専生の方が多く、私たちでは対応できない質問も多くありましたが、先生方と協力して様々な相談を受け付けました。プレゼンでは多くの質問が出て、高校生のやる気に満ち溢れた姿を見て、私自身の刺激にもなりました。同じように自分が相談したことやプレゼンが、この学類を目指す人の刺激になっていれば良いなと思いました。

(いとう・しのぶ 知識情報・図書館学類2年次)

森 彩乃

3月29日に大塚キャンパスで開催された春の進学説明会には、現在の2年生3名が参加し、プレゼンテーション資料による学類および春日キャンパスの説明と個別相談会を行いました。自宅からの通学について熱心に質問してくださった方もいて、今現在も実家から通っている身としてできる限りのアドバイスをしました。入学を希望しているみなさんの力に少しでもなれたなら嬉しく思います。

(もり・あやの 知識情報・図書館学類2年次)



学生によるプレゼンテーション



個別相談

## 3 年次編入説明会

菊池 祥平

4月23日、平成29年度の編入学志望者のための3年次編入説明会が行われました。私は平成27年度編入学生（現4年生）として、自分自身の編入体験記について発表しました。私が受験をした当初は情報も少なく、どのような対策をすれば良いのか、文系や理系共にどのような人が合格しているのか、といった情報すら分かりませんでした。そういった自分自身の経験も踏まえて、この説明会では積極的に情報の公開や志望者との交流を行いました。



この学類では、学力も当然ながら、「他大学・他学類ではなく何故この学類なのか」、「この学類で何を成し得たいのか」が問われます。共にこの学類で夢を実現させましょう！来年度の入学を楽しみにしています。

（きくち・しょうへい） 知識情報・図書館学類4年次

篠崎 雅

振り返れば、2年前の私も3年次編入説明会に参加して、この学校に入学しようという意思を固めました。登壇者の先輩方のいきいきとしたプレゼンから、本学での大学生活への期待を募らせていた気がします。

そんな私が入学し、今度は登壇者として参加してみると、参加者の学生さんの「熱意」に少し圧倒されました。「何がしたい」「こうなりたい」といった想いが明確で、「2年前の自分もこうだっただろうか」と自分を省みる機会にもなったように感じます。



編入学してからの短い2年間で「やりたいこと」を成すためには、強い意志が必要なのだと思います。あと1年もありませんが、初心に戻って、有意義な日々を過ごしたいと思いました。

（しのざき・みやび） 知識情報・図書館学類4年次

## 私たちが大学説明会を 企画・運営しています

市村 彩也香

私たち大学説明会実行委員会は、毎年夏に行われる知識情報・図書館学類の大学説明会の企画・運営を行っています。知識情報・図書館学類では夏の大学説明会を、学生が主体となって運営しています。中心となって活動をしているのは1年生の委員で、それを上級生の委員がサポートしています。大学説明会の当日までは月1回程度の全体ミーティングを行って、各企画の進捗の状況を確認しています。そして、当日はボランティアスタッフの協力のもと、様々な企画を通して本学類の特色や入試について来場者の方々に知っていただけるよう努めています。



今年度の夏の説明会は筑波大学春日エリアで8月7日（日）に行われます。学類長による教育課程と入試に関する話の他に、学生によるスチューデントトークやキャンパスツアーなどの企画を行います。スチューデントトークでは学生の視点からの学生生活や入試（一般・推薦・AC）についての発表があります。学生から直接話を聞いたり、質問することができる相談コーナーも設置しています。また今年度は、図書館の見学や図書館に関するパネルディスカッションを行う「知る見る図書館」とい

う新企画を行います。その他に、教員による模擬授業やオープンラボなどもあり、授業を受けたりなかなか見ることのできない研究室やゼミを見学することができます。知識情報・図書館学類を受験しようと考えている方は、貴重な機会ですので、ぜひお越しください。また、学類の1年生・2年生のみなさん、ボランティアとして活動に参加しませんか。

（いちむら・さやか 知識情報・図書館学類2年次）

Web ページもご覧ください。

[http://klis.tsukuba.ac.jp/~s1511475/open\\_campuses.html](http://klis.tsukuba.ac.jp/~s1511475/open_campuses.html)

# サバティカル報告

池内 淳

私は2015年4月から一年間サバティカル（研究休暇）の機会を与えていただき、そのうち12月から3月の三か月間、アメリカのハワイ州にあるハワイ大学マノア校に訪問研究員として滞在しました。

ご存知の通り、ハワイは一年中温暖な気候で、世界中から多くの観光客が訪れる場所です。私が滞在した時期はハワイでは雨季にあたり、比較的気温は？高くないということでしたが、それでも毎日が夏という感じでした。ただ、私の個人研究室はハミルトン図書館という大学図書館の中にあつたのですが、図書館内は資料保存のために素晴らしく空調が効いていて寒いくらいでした。私もセーターを着たりして暖かい服装を心がけていたのですが、それでも一日中研究室で過ごしていると体の芯から冷え込んでしまいます。ですから、定期的に図書館の外にでて日光浴をしたり、一日おきに場所を変えて仕事をしたりしていました。まさかハワイに来て寒さに震えることになるとは思いませんでした。

滞在中はアメリカ本土にも足を伸ばしていろいろな都市を訪問しました。マサチューセッツ州ボストンでは、ボストン・アシーニウムやボストン公共図書館といった歴史ある図書館を訪れました。また、テキサス州サンアントニオでは、アメリカ初の本のない大学図書館として有名なテキサス大学サンアントニオ校の応用工学技術図書館や、同じくアメリカ初の本のない公共図書館であるビブリオテックを視察し、図書館の方々から設立の経緯についてお話をうかがうことができました。それ以外にも様々な図書館を訪れましたが、事前にアポイントメントを取っていない場合であっても、皆さん快く受け入れてくれました。とても良い思い出です。

末尾になりましたが、サバティカル期間中、授業や研究指導、委員会業務などを私の代わりに担当してくださった先生方にこの紙面をお借りして心から感謝を申し上げたいと思います。

（いけうち・あつし 知識情報・図書館学類 准教授）



ハワイ大学マノア校 ハミルトン図書館

# MILK の表紙ができるまで

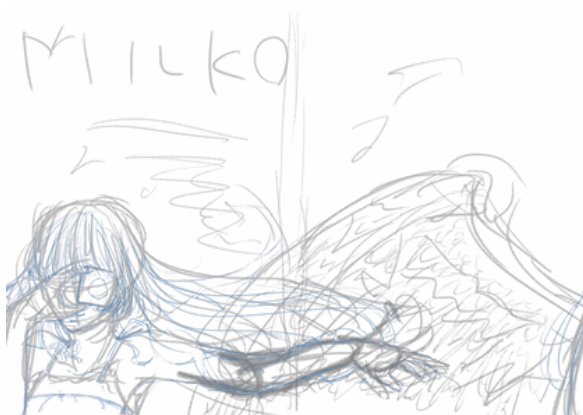
星 穂波

こんにちは。学類誌 MILK の紹介第三弾です。今回は 7 号から私が担当している表紙についてお話ししたいと思います。

ロゴを一新した新体制 MILK は、毎号テーマカラーを決めています。表紙では、テーマカラーと内容、特に特集記事に合ったデザインにすることを心がけています。もともと絵を描くことが好きだったため、先輩方のような図形や写真を組み合わせた表紙ではなく、一枚のイラストに表題や記事タイトルを入れる形にしました。まったく毛色の違う表紙を作ってしまう、編集部内や読者に受け入れてもらえるか不安でしたが、問題なく受け入れられているようで、どうにか今まで続けられており安心しています。



歴代表紙と次号表紙



9 号表紙下書き

表紙イラストは、7～8号では IllustStudio を使用しましたが、今回から CLIP STUDIO PAINT に切り替えました。加工や文字のレイアウトは Illustrator と Photoshop です。ミーティングでテーマカラーと記事の内容が決まり次第、どのような表紙にしようか考えながら作り始めます。大まかに、「下書き→線画→色塗り→仕上げ→加工→文字入れ」といった流れで、一人の女子と MILK のロゴをメインに置き、記事から連想されるモチーフ、取材で見たものやその時描きたいものなどを、描いては消しを繰り返しながら作っていきます。許可をいただいて、ほかの編集部員が撮影した写真を使用させていただくこともあります。文字の邪魔をしないこと、ぱっと目を引けるようなデザインにすること、なによりも締め切りを守ることが表紙を作る上での目標です。

7月発行予定の9号では表紙、裏表紙の両方を担当しました。テーマカラーの青をメインに、小口（開く部分）と背（閉じている部分）のどちらからも表紙と裏表紙が繋がる仕様になっています。記事も魅力的なものばかりですので、是非手に取って御覧ください。

（ほし・ほなみ 知識情報・図書館学類2年次）